

	<h1>明日を拓く</h1>	<h2>学校報</h2> <p>令和2年 4月22日 No. 5 美郷町立美郷中学校</p>
---	----------------	--

■「臨時休業」…生徒の安全確保が趣旨の柱！

新型コロナウイルスの猛威に備え、全都道府県が緊急事態措置の対象区域に指定され、県教育長からの要請を踏まえ、本校も明日4月23日(木)から5月6日(水)までの2週間で臨時休業とすることといたしました。

誰もが経験したことのない事態です。身近なところに感染者等がないというだけでは安心できない状況になったが故の措置です。したがって、部活動はもとより、スポーツ少年団活動も中止となっています。

「感染しない、うつさない、命を守る」ために外出を控えましょう。

戸外で体力の維持増進に努めることは大切なことですが、このことに留意して行いましょう。

家庭生活では、「気づき、考え、行動する」美郷中生を意識し、規則正しい生活リズム、学習や読書の時間の確実な確保、適度な運動等に計画的に取り組んでほしいと考えています。



■「休憩時間の得点」をもう一度ねらおう！♡

「人生という試合で最も重要なのは、休憩時間の得点である。」 ナポレオン

カメはウサギの休憩時間に大逆転しました。アリとキリギリスのイソップ寓話からも学んでいます。臨時休業という休憩時間にどんな得点がねらえるでしょうか。

- ・学習課題の早期完了
 - ・進路目標の明確化
 - ・前年度までの復習
 - ・苦手教科の克服
 - ・自力で起床
 - ・体力維持増進活動の継続
 - ・ゲーム・ネット時間の短縮
 - ・読書時間の延長
 - ・新聞切り抜き、要点まとめ
 - ・家事手伝い(自炊洗濯掃除ができるように)
 - ・昼食自炊片付け(火気と食中毒嚴重注意)
- ◎気づき、考え、行動する



■真っ暗だからこそ見える光があると信じる♡

一生に一度の中学3年生。それにつながる1、2年生。誰にとっても、一生に一度きりの、かけがえのない中学校生活が、新型コロナウイルスの猛威にさらされています。大いなる希望を抱いて迎えた令和2年度が、わずか2週間で臨時休業となり、中体連春季大会や県マーチングフェスティバルに続いて「大曲仙北都市陸上競技大会」も中止となりました。

「走る美郷」の誇りを胸に、自分への挑戦という目標を抱いていた皆さんをはじめ、生徒の気持ちは察するに余りあります。

この新型コロナウイルスとの闘いは、今後も最悪を想定して対処していかなければならないと考えています。

「友よ、逆境にあっては、常にこう叫ばねばならない。『希望、希望、また希望』と。」
ヴィクトル・ユーゴー
「生命のあるかぎり、希望はあるものだ。」
セルバンテス

私たちの多くは、これまでに「命」に関わる危機感を抱いたことが、どれほどあったでしょうか。東日本大震災後も、揺れや津波が落ち着いてからは立ち上がる希望をもつことができました。しかし、新型コロナウイルスには、克服する手立てという希望がまだ見えてきません。

今は耐え凌ぐしかありません。そのためには「希望」を捨てないことが何より大切です。

「3・11の時の夜空のように、真っ暗だからこそ見える光があると信じています。」
羽生結弦

震災から立ち上がったフィギュアスケートメダリスト羽生選手のメッセージは、希望をもつことの大切さを語っており、心を動かされます。

希望を捨てずにいる方法は、希望を極小にすることだと言われています。希望を小刻みにし、叶えられたときの幸せをかみ締め、小さな喜びを大切に積み重ねて生きるという、原点に立ち返ることが求められているのかもしれませんが。

新型コロナウイルスの猛威は、私たちに「当たり前」の日常のありがたさを痛感させ、勉強や部活動、進路への備えの在り方について、原点に立ち返ることの警鐘を鳴らしています。

校庭の桜も見ごろを迎え、4月21日(火)には、小雨の合間を見て全校や学級の写真を撮影しました。

